

福井県知事杯 第22回福井県剣道選手権大会

開催日 7月20日(日)

開催場所 福井県立武道館

男子は富田選手が10年ぶり2度目、 女子は大西選手が8年連続 11度目の制覇!!



第123号

発行人

(一財)福井県剣道連盟

会長 片山 外一

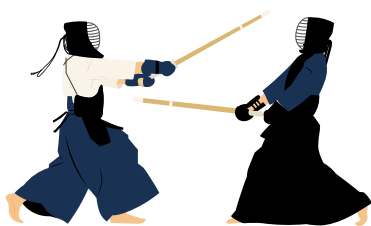
事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18

サンライズ二の宮1-B

TEL-FAX (0776) 28-6616

メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp



男子決勝戦 富田 vs 長野

男子の部

優勝 富田成慈選手(鯖江地区)

※全日本選手権大会出場は10年ぶり2回目の出場

2位 長野和生選手(学剣連)

3位 山崎由樹選手(福井県警察)

3位 橋本恭佑選手(福井県警察)

福井県剣道連盟は「福井県知事杯 第22回福井県剣道選手権大会」を7月20日(日)、福井県立武道館で開催しました。県内各地区剣道連盟および団体から選出された代表選手男子39名、女子15名が出場し、男女別トーナメントで競いました。男子の部は富田成慈選手(鯖江地区)が10年ぶり2度目、女子の部は大西なみ選手(学剣連)が8年連続11度目の優勝を飾りました。富田選手と大西選手はともに11月3日(月・祝)、東京の日本武道館で開催される「第73回全日本剣道選手権大会」、「第64回全日本女子剣道選手権大会」への福井県代表選手としてそれぞれ選考されました。女子の部決勝戦は5年連続大西選手対梅原選手の対戦でした。試合結果は以下の通りです。



男子準決勝 富田 vs 山崎

▽準々決勝

山崎由樹(県警)

メー

内田大樹(県警)

富田成慈(鯖江)

メ、メー

徳橋知輝(福井)

橋本恭佑(県警)

ドー

梅田圭仁(福井)

奥田大也(福井)

ドーメ、メ

長野和生(学剣連)

▽準決勝

山崎 ー延メ

富田

橋本 ーメ、メ

長野

▽決勝

富田 メー

長野

■女子の部

優勝 大西ななみ選手(学剣連)

※全日本女子選手権大会出場は8年連続11回目

2位 梅原陽乃選手(越前地区)

3位 八幡明依選手(福井県警察)

3位 小山結衣選手(福井地区)

▽準々決勝

大西ななみ(前回優勝)

メー

八幡明依(県警)

コー

小山結衣(福井)

メー

狩川怜那(敦賀)

ー延メ

梅原陽乃(越前)

ー延メ

竹元和葉(福井)

ー延メ

辻崎実希(坂井)

ー延メ

梅原陽乃(越前)

ー延メ

梅原陽乃(越前)

ー延メ

梅原陽乃(越前)

ー延メ



男子準決勝 長野 vs 橋本

▽準決勝

大西 メ、メー

八幡

小山 ーメ

梅原

▽決勝

大西 メー

梅原

■大会講評

常務理事・審判長 堀江範雄

7月20日(日)、出場選手女子15人、男子39人、今年の全日本剣道選手権大会出場の1枚の切符を手中に収めるべく、県立武道館において「福井県知事杯・第22回福井県剣道選手権大会」が開催されました。選手の皆様は1年間精進された腕試し、県剣道連盟としても一大イベントの大会です。県代表を決定する大会です。審判員も開会式前に「審判打合せ会議」を実施し、適正公平に審判ができるよう、有効打突の判断および鏝競り合い等の反則事項を具体的に確認し、審判員相互の意思の統一を図りました。

開会式の片山会長から「最後までしっかり戦ってほしい」と挨拶があり、また中村忠嗣県流文化部文化スポーツ局長からは「国スポでの剣道競技の活躍が目覚ましい。今後頑張ってほしい」として稲田朋美衆議院議員からは「ただ一撃にかける」の様に自身も剣道をしていた者として

皆さんに期待している」とそれぞれ激励のご祝辞がありました。

【女子の試合】

女子の試合は参加選手が少ないことから午後から開始されました。1回戦から準々決勝までは1本勝ち、また延長戦で勝敗が決まるという拮抗した試合ばかりでした。

(ベスト4)

大西ななみ選手(敦賀高校教員)、梅原陽乃選手(天理大学)、小山結衣選手(福井工業大学)、八幡明依(福井県警察)が勝ち残りました。

準決勝戦の第1試合、大西選手と八幡選手の試合は、八幡選手が果敢に攻め技を出すのですが、それを大西選手が余して打突する。また技を出したら1本にするまで連続に打突する、出てよし、引いて良しの試合内容でメンの2本勝ちを収めました。

第2試合、小山選手と梅原選手の試合は、大学生同士で動きのある試合でしたが、梅原選手が中間から一瞬に引きメンを決めて1本勝ちを収めました。

(決勝戦)

5年連続同一カード、今年も確実な1本の打突を繰り出す大西選手と、初優勝を狙う梅原選手との戦い

となりました。試合は以前にも増して攻めが鋭い大西選手と、今回は落ち着いて構えて様子を見ている梅原選手の、動と静の試合となりました。大西選手は鏑競り合いから分かれても素早く間合いを詰める。その先々の先に対し、それに乗ろうとする梅原選手、決着はお互いが攻めて中間になった一瞬に引きメン技を出した大西選手が1本勝ちを収めました。

よく試合では足を使え(動く)、素早く攻めろ、相手が引いたら追い込め、相手の竹刀を触ってやれ、と言われます。大西選手はそれを忠実に実践され、どの様な体制でも打突できる体幹が勝利に結びついたと思います。

今回も梅原選手は後一步で準優勝となりましたが、毎年決勝まで勝ち上がることは大変立派であると思います。精進されてリベンジを果たしていただきたいと思います。期待いたします。頑張ってください。

大西選手、今回で11回目の全日本選手権大会の出場となります。毎年が勝負でしょうが、昨年より上位の成績を収められますよう、思う存分戦っていただきたいと思います。期待しております。

年々女子の出場参加選手が少なくなり試合数も減り大変残念です。試合開始も午後からとなっています。運営

の関係もありますが、来年は各地区連盟で協議していただき、何とか出場者が増えて男女が同時に開催されることをお願いしたいと思います。

【男子の試合】

〈1回戦から3回戦〉

3回戦までに国スポ強化指定選手が殆ど勝ち残りました。強化指定選手は毎週木曜日に1時間、県立武道館で基本技および打ち込みを中心とした練習を実施していますが、強化指定選手でも1回戦敗退、なかなか上位に勝ち上がりません。大変厳しい試合が続きました。しかし、その中でも畑祐一郎選手(鯖江地区)は49歳でありながら、トリッキナーな剣風で、若手を撃破していく姿に大変感銘を受けました。来年も頑張ってくださいと思います。

〈ベスト4〉

ベスト4には警察官同門対決で、動きのある内田選手(県警)にメンの1本勝ちした山崎選手(県警)、いつも強化で稽古をしている最近伸び盛りの徳橋選手(県警)に飛び込みメンで2本勝ちした富田選手(刑務官)、同じく正攻法の梅田選手(教員)をドウの1本勝ちをした橋本選手(県警)、パワーのある奥田選手(学生)に2本勝ちした長野選手(教員)が残

りました。警察官2名、教員1名、刑務官1名が残りしました。

〈準決勝戦〉

第1試合は山崎選手と富田選手で、それぞれの職場ではベテラン選手であります。序盤戦はお互い探り合いの状況でしたが、少し慎重になつていった山崎選手に対し、後半自分のペースに持ち込んだ富田選手の思い切りの良い飛び込みメンが爆発し、富田選手が勝利しました。

第2試合は、橋本選手と長野選手で、正攻法の長野選手がスピードのある飛び込みメンと相コテ・メンで2本勝ちを収めました。橋本選手はもう少し足を使えば勝機もあったと残念に思いました。

〈決勝戦〉

決勝戦は10年ぶりの優勝を狙う富田選手と初優勝を狙う長野選手の対決となりました。試合は序盤からお互い技の探り合いの中、豪快に飛び込みメンを出す長野選手でしたが惜しくも1本にはならず、またチャンスをつながいながら試合を進める富田選手でしたが時間内には勝敗はつかず延長戦となりました。延長戦に入り少し慎重になった長野選手に対し、ペースを掴んできた富田選手が間合いを詰めてキレのある飛び込み

メンに対し、長野選手の返しドウが炸裂、審判員の旗が分かれ、富田選手の飛び込みメンに旗2本、長野選手の返しドウに旗1本が上がり、富田選手の優勝が決定しました。どちらに旗が上がってもおかしくない本当に紙一重のお互いの技でした。

優勝した富田選手は6月の国スポ選考会では1回戦負けでしたが、その後の強化稽古会には参加しており、愚直にやってきたことが特に印象に残っていました。そこに最後の見えない力、旗2対1の勝利を呼び起こしたのだと思います。また試合には負けましたが、長野選手の堂々たる姿勢、態度については、今後の本県剣道界に新風を起こすことは間違いないと大変嬉しく思った次第です。

【総括】

男子については、昨年優勝者の林田匡平選手が地元長崎県に帰郷されて本命がいらない中、誰が本大会を制するのかと思いましたが、10年ぶりに優勝した富田選手は諦めずによく頑張ったと思います。また女子の大西なみ選手は8年連続11度目の優勝で、全日本女子選手権大会11回目の出場となり、技術のみならず、不撓不屈の精神面を同時に備えられていることは本当に凄くて素晴らしいと感じました。

試合を観戦して感じたことは、やはり試合は「先々の先で試合をすること」が大事だと思います。故高橋俊昭先生は福井国体の強化で「攻撃は最大の防御なり」、「先をとり、攻めていくことにより勝機が見えてくるものだ」と言われました。また、「攻めていくが最後に怖くなり左手が上がったまま防御しながら打ちにいくのでは、打突しても一本にはならない。左手を上げない、正中線を取りながら打突することをしなければ全国でも通用しない」とも言われました。全くその通りだと思います。これらを克服するためには昨年も申し上げましたが、基本打ちを正しく行うこと。特にちよんこと当てを意識して打突する。具体的には基本打ちは肩を使つての打突、さらには竹刀の振りを大きく早く打突することです。参考にしてください。

今回も怪我なく終了したことは、選手は元より大会運営にご尽力いただいた全ての関係者のお蔭だと思います。感謝申し上げます。ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後に毎回言うことですが、「勝ちに不思議な勝ちあり。負けに不思議な負けなし」と言われるよう、環境が整っているから勝てるのではありま



女子準決勝 梅原 vs 小山



女子決勝 大西 vs 梅原

せん。その状況でいかに工夫してベストを尽くしてやるか、その努力が必要なのです。その努力の結果、目に見えない力が出て勝利が来るのだと思います。お互い精進しましょう。



開会式③



開会式②



開会式①



開会式⑥ 来賓の中村忠嗣福井県文化・スポーツ局長ご挨拶



開会式⑤ 片山会長挨拶



開会式④



熱戦を繰り広げる選手①



開会式⑧ 堀江範雄審判長による競技上の注意



開会式⑦ 来賓の稲田朋美衆議院議員ご挨拶



閉会式② 女子表彰



閉会式① 男子表彰



熱戦を繰り広げる選手②



女子知事杯



男子知事杯



開会前 緊張感溢れる試合前の会場



選手受付



竹刀検量

全国大会／ブロック大会 本県勢の活躍

第23回全日本選抜剣道八段優勝大会

4月20日(日)

名古屋市市中村スポーツセンター(名古屋市内)

堀江選手、1回戦惜敗

全日本剣道連盟主催「第23回全日本選抜剣道八段優勝大会」が4月20日(日)、名古屋市の名古屋市中村スポーツセンターで開催され、本県からは昨年の大会に引き続き堀江範雄選手(教士八段、坂井地区)が出場しました。

堀江選手は1回戦で大阪府の吉田一秀選手と対戦、ツキとドウを取られ残念ながら1回戦で敗退しました。優勝は北海道の栄花直輝選手で3連覇を達成しました。

第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

4月29日(火・祝)

和歌山ビッグホエール

2回戦の熊本戦で敗退

「第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」が4月29日(火・祝)、和歌山市の和歌山ビッグホエールで開

催され、福井県チームは1回戦で岐阜県と対戦し、3対0で快勝。2回戦は強豪の熊本県と対戦、競り合いを繰り広げたものの0対2で惜敗しました。

試合結果は次の通りです。

▽1回戦

福井		岐阜	
先鋒	山口	引き分け	北東
次鋒	奥村	引き分け	石原
五将	中村	メ	高井
中堅	渡邊	メ、メ	坂本
三将	内田	引き分け	大野
副将	中村	メ、メ	村上
大将	小辻	引き分け	松尾

※3対0で勝ち



▽2回戦

福井		熊本	
先鋒	山口	メーメ	中村
次鋒	奥村	引き分け	末永
五将	中村	メーメ、コ	谷口
中堅	渡邊	メ、メ	大盛
三将	内田	引き分け	齊藤
副将	中村	引き分け	佐藤
大将	小辻	引き分け	中嶋

※0対3で負け



第67回北信越学生剣道選手権大会・

第57回北信越女子学生剣道選手権大会

5月18日(日)

金沢大学角間キャンパス体育館

男子は福井工大奥田選手が制覇！

北信越学生剣道連盟主催「第67回北信越学生剣道選手権大会」と「第57回北信越女子学生剣道選手権大会」



が5月18日(日)、石川県金沢市の金沢大学角間キャンパス体育館で開催され、7月5日(土)・6日(日)、日本武道館で開催される「第73回全日本学生剣道選手権大会」と「第59回全日本女子学生剣道選手権大会」への出場権をかけて競いました。男子の部では福井工業大学の奥田選手が優勝、同大学からは小山選手が3位、大宮選手が4位に入賞しました。また女子の部では同大学の伊藤選手が3位、川上選手が4位に入賞しました。本県からは他に福井大学から男子5名、福井県立大学から男子4名・女子1名が出場しました。試合結果は以下の通りです。

■男子の部

優勝 奥田大也選手(福井工大)
2位 橋本選手(信州大)
3位 小山颯太選手(福井工大)
4位 大宮輝星選手(福井工大)
※全日本学生選手権大会へ男子は12位までが出場。本県勢は前記3名と大倉匠人選手、石川清平選手、豊田一生選手、野村吉伸選手(いずれも福井工大)が出場



「第73回全日本学生剣道選手権大会」への出場権を獲得した北信越地区代表12名の選手



左から男子の部優勝の奥田選手(福井工大)、2位の橋本選手(信州大)、3位的小山選手(福井工大)



「第59回全日本女子学生剣道選手権大会」への出場権を獲得した北信越地区代表6名の選手



左から女子の部優勝の大野選手(金沢学院大)、2位の菅原選手(新潟医療福祉大)、3位の伊藤選手(福井工大)

■女子の部

優勝 大野選手(金沢学院大)
2位 菅原選手(新潟医療福祉大)
3位 伊藤智尋選手(福井工大)
4位 川上友梨子選手(福井工大)
※本県勢の全日本女子学生選手権大会出場者は前記2名のみ

第70回西日本学生剣道大会・第40回西日本女子学生剣道大会

5月24日(土)・25日(日)

久留米アリーナ(久留米総合スポーツセンター体育館)

本県勢の結果は次の通りです。

福井工大女子は4回戦進出

前記大会が5月24日(土)・25日(日)、福岡県久留米市の久留米アリーナで開催され、北信越地区からは福井工業大学(男女)が出場しました。福井県勢の結果は次の通りです。

■第40回西日本女子学生剣道大会

▽2回戦

福井工業大学 2―1

京都産業大学

▽3回戦

福井工業大学 2―1 中部大学

▽4回戦

福井工業大学 1―3 高知大学

※4回戦敗退

■第70回西日本学生剣道大会

▽1回戦

福井工業大学 1―2

岡山商科大学

※1回戦敗退

第63回北信越高等学校剣道大会

6月20日(金)～22日(日)

富山県西部体育センター

敦賀が女子団体準優勝、
男子団体3位

本県勢の結果は次の通りです。



個人戦 男子2位の深川選手、3位の出口選手、女子3位の狩川選手(3人ともに敦賀高)



男子団体3位、女子団体準優勝の敦賀高校

■男子個人戦

2位 深川幸希(敦賀高)

3位 出口慧(敦賀高)

ベスト8 下寛人(藤島高)

■女子個人戦

3位 狩川怜那(敦賀高)

■男子団体戦

【予選リーグ】

北陸高 2勝2敗 4位

(予選リーグ敗退)

丸岡高 2勝2敗 3位

(予選リーグ敗退)

敦賀気比高 3敗1分 5位

(予選リーグ敗退)

敦賀高 4勝 1位

(決勝トーナメント進出)

【決勝トーナメント】

▽準々決勝

敦賀 4―0 航空石川(石川)

▽準決勝

敦賀 0―3 金沢桜丘(石川)

【結果】

3位 敦賀高校

■女子団体戦

【予選リーグ】

美方高 2勝2敗 3位

(予選リーグ敗退)

敦賀高 4勝 1位

(決勝トーナメント進出)

敦賀気比高 2勝2敗 4位

(予選リーグ敗退)

北陸高 2勝2敗 3位

(予選リーグ敗退)

【決勝トーナメント】

▽準々決勝

敦賀 3―0 新潟第一(新潟)

▽準決勝

敦賀 1―0 富山北部(富山)

▽決勝

敦賀 0(代表負け)―0 金沢(石川)

【結果】

2位 敦賀高校

【優秀選手】

男子 出口慧(敦賀高)

女子 狩川怜那(敦賀高)

■感想

敦賀高校 剣道部

男子主将 深川幸希

今回、北信越剣道大会で3位という成績を収めることができたのは、日々ご指導くださっている先生方、どんなときも応援し支えてくださった保護者の皆さん、そしてともに切磋琢磨してきた仲間たちのおかげです。自分一人の力では決してたどり着けなかった場所に、皆さんのおかげで立つことができました。本当にありがとうございます。

今大会では、1戦1戦に集中して

挑み、粘り強く勝ち進むことができましたが、決勝に進めなかったことへの悔しさも強く感じました。その一方で、自分たちの成長や課題を改めて実感できる大会にもなり、今後に向けてまた頑張ろうという気持ちにもなりました。

これから控える玉竜旗では、勝ち抜き戦という緊張感の中で、粘り強さと果敢さを持つて一本を取り切る剣道を目指します。そしてインターハイでは、全国の強豪相手に自分たちの剣道を堂々と貫き、チーム一丸となって最後まで全力で戦い抜きます。

ここまでこられたことへの感謝を胸に、今後も一日一日の稽古を大切に積み重ね、さらに高みを目指して努力していきます。応援よろしく願います。

敦賀高校 剣道部

女子主将 狩川 伶那

県大会が終わって約2週間、私たちは団体が優勝する・北信越で一番になるという目標に向かって日々の練習に取り組んできました。厳しい予選リーグから始まり、一戦一戦目の前の相手に集中しひとつひとつ勝ち切るという思いで臨みました。スコアが大きく動いてしまったり、なかなか相手に対応できなかったりと、課題はたくさん残る予選リーグではありましたが、しっかり最終日に繋げることができました。決勝トーナメントでは一本一本を大切に、全員が勝負をしいについて、チームで勝つということを大切にして戦いました。しかし、決勝まで進むことができたものの、そこで勝ち切ることはできず、目標としていた優勝には届きませんでした。納得のいく形で終わったわけでもなく、悔しさの残る結果となってしまいました。

この北信越大会を通して、見直さなければならぬ部分、取り組みまなければいけないことなどさまざまな課題を得ることができました。玉竜旗・インターハイと全国大会で勝ち上がるためにも、この負けを負けで終わらせず、自分たちのやるべきことと真剣に向き合い、全員で必死になって全てのことに取り組んでいき

ます。このチームで戦うことができるのも限られています。残された一瞬一瞬の時間を大切にして、全ての思いをかけて全力で頑張ります。

応援してくださった方々、支えてくださった方々、本当にありがとうございます。夏に向けて応援よろしく願います！

第73回全日本学生剣道選手権大会・

第59回全日本女子学生剣道選手権大会

7月5日(土)～6日(日)

日本武道館

福井工大から男子7名、女子2名が出場

個人戦の学生日本一を決める「第59回全日本女子学生剣道選手権大会」「第73回全日本学生剣道選手権大会」が7月5日(土)～6日(日)、東京都の日本武道館で開催され、北信越地区代表として福井工業大学から男子7名、女子2名が出場しました。

また6日には「第72回全日本学生剣道東西対抗試合」も行われ、福井工大の奥田大也選手が東軍の四将で出場し西軍大将の寺前選手(関西大)と対戦、引きメンを取られ敗れました。

試合は東軍が優勝しました。

福井県勢の試合結果は次の通りです。

■第73回全日本学生剣道選手権大会

▽1回戦

大宮輝星(福井工大)

ーコ

鈴木(名城大)

ーコ

小山颯太(福井工大)

ーコ

嘉村(国士館大)

ーコ

豊田一生(福井工大)

メーコ、メ

管(関学大)

メ

▽2回戦

石川清平(福井工大)

ーメ、コ

大倉匠人(福井工大)

ーメ

藤堂(国士館大)

ーコ

野村吉伸(福井工大)

ーコ

増田(早稲田大)

ーコ

奥田大也(福井工大)

メー

石川(高知大)

メー



第73回全日本学生選手権大会に出場した福井工業大学の男子7選手と女子2選手

▽3回戦

奥田 ーメ、メ 中尾(法政大)

※優勝は藤島心選手(日体大)

■第72回全日本学生剣道東西対抗試合

東軍四将 奥田大也選手(福井工大) ーメ

西軍大将 寺前(関西大)

※東軍が優勝



第72回全日本学生剣道東西対抗試合の試合結果

■第59回全日本女子学生剣道選手権大会

▽1回戦

伊藤智尋(福井工大) ーメ

五十嵐(筑波大)

川上友梨子(福井工大) コー

木口(三重大)

▽2回戦

川上 ーメ 島村(筑波大)

※優勝は村田結衣選手(中央大)



第59回全日本女子学生剣道選手権大会に出場した福井工業大学の川上友梨子選手と伊藤智尋選手

第60回北陸地区高等専門学校学校体育大会 剣道競技

7月5日(土)～6日(日)

新湊アイシン軽金属スポーツセンター(新湊総合体育館)

福井高専が男子団体2連覇、男子個人も優勝、3位独占!



男子団体2連覇と男子個人1～3位を独占した福井高専チーム

「第60回北陸地区高等専門学校学校体育大会剣道競技」が7月5日(土)～6日(日)、富山県射水市の新湊アイシン軽金属スポーツセンター(新湊総合体育館)で開催され、男子団体では福井工業高等専門学校が2年連続の優勝を果たしました。男子個人では同じく福井高専の伊藤彬選手が

優勝、荒川祥慶選手が準優勝、宮田慈生選手が3位と表彰台を独占しました。結果は次の通りです。

■男子団体戦

福井高専 4ー1

富山高専射水キャンパス

福井高専 5ー0

富山高専本郷キャンパス

福井高専 4ー1 石川高専

富山高専射水キャンパス 5ー0

富山高専本郷キャンパス

富山高専射水キャンパス 2ー3

石川高専

富山高専本郷キャンパス 0ー5

石川高専

優勝 福井工業高等専門学校

準優勝 石川工業高等専門学校

第3位 富山高専専門学校射水キャンパス

■男子個人戦

優勝 伊藤彬

(福井工業高等専門学校)

準優勝 荒川祥慶

(福井工業高等専門学校)

3位 宮田慈生

(福井工業高等専門学校)



男子個人優勝の伊藤彬選手(中央)、準優勝の荒川祥慶選手(右)、3位入賞の宮田慈生選手(左) ※いずれも福井高専

※女子団体、個人ともに出場は無し

第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

7月13日(日)

日本武道館

福井県チーム、1回戦敗退

福井県チームの結果は次の通りです。

▽1回戦

福井県 1ー4 佐賀県

※1回戦敗退

■大会所感

高嶋寿美

7月13日(日)、「第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」が日本武道館で開催されました。昨年、初勝利し今年もその勢いで1戦1戦勝利することを目指し、大会に挑みました。

1回戦の相手は佐賀県でした。昨年佐賀県で国民スポーツ大会が開催されたこともあり、強豪チームとの対戦になると予想していました。試合に向けて声を出し、相手を上回る勢いで試合を展開し、勝利することを目指してチーム内で意思疎通を図り、試合に挑みました。結果は1勝4敗1引き分けで敗退しました。先鋒、次鋒戦は動きが良く、特に次鋒山田選手は優位な展開で、終始素晴らしい試合でした。しかし、中盤から後半にかけて負けや引き分けが続いてしまいました。今回の試合では大きく2点について課題だと思いました。1つ目は、「はじめ」がかかる前から準備をし、初太刀を大切にします。2つ目は、前半とても良い流れで攻めていたのに、後半も気持ちを持続して機会を得ることができるよう確実に試合を最後までやりきるということです。今回の課題をまた来年に生かすことができるように、そして、1戦1



戦勝利することを目指していきたいです。剣道連盟をはじめ、サポート・応援していただいた皆様に感謝申し上げます。

第4回北信越高齢者武道大会

7月13日(日)

謙信公武道館(新潟県立武道館)



開会式①



開会式② 手前の列が本県選手団



開会式③

来賓の岩立三郎全日本高齢者剣友会会長の祝辞

個人戦、田中(秀)選手(福井地区)が3位入賞

新潟県高齢剣友会主催の「第4回北信越高齢者武道大会」が7月13日(日)、新潟県上越市の謙信公武道館(新潟県立武道館)で開催され、北信越地区の長野県、富山県、福井県と開催地の新潟県から男女合わせて約130名が参加、本県からは福井県剣道寿康会会員13名が参加しました。団体は福井県剣道寿康会A・Bと長野県との合同チームの3チームに分かれ、個人戦は年代別に分かれて出場し交流を深めました。試合結果は次の通りです。



個人戦3位入賞の田中秀幸選手

■団体戦

▽1回戦

福井・長野混成チーム 0-3

新潟県A

※1回戦敗退

▽2回戦

福井県剣道寿康会B 1-3

新潟県F

※2回戦敗退

福井県剣道寿康会A 2-2

(代表勝ち) 富山県砺波

※2回戦敗退

■個人戦

▽男子個人戦寿組

ベスト8 河合岩暢(三方地区)

▽男子個人戦A

ベスト8 尾形言成(越前地区)

▽男子個人戦C

3位 田中秀幸(福井地区)

令和7年度玉竜旗高校剣道大会(第96回)

7月25日(金)~29日(火)

福岡市総合体育館「照葉積水ハウスアリーナ」

敦賀高女子4回戦進出

西日本新聞社などが主催する「令和7年度玉竜旗高校剣道大会」が7月25日(金)~29日(火)、福岡県福岡市の福岡市総合体育館「照葉積水ハウスアリーナ」で開催され、本県からは男子が啓新高校、敦賀気比高校、敦賀高校、福井工大福井高校、北陸高校、丸岡高校の6校、女子は啓新高校、丸岡高校、敦賀高校、敦賀気比高校の4校が出場し、女子の部で敦賀高校が4回戦進出しました。

本県勢の結果は次の通りです。

■女子の部

▽1回戦

啓新 不戦3人 城南商(福岡)

▽2回戦

明豊(大分) 不戦4人 啓新

甲府商(山梨) 不戦4人 丸岡

敦賀 不戦1人 三重(三重)

敦賀気比 大将勝ち 小倉(福岡)

▽3回戦

敦賀 不戦2人 岡山宋操山(岡山)

八代白百合学園(熊本) 不戦4人

敦賀気比

▽4回戦

磐田東(静岡) 不戦1人 敦賀

■男子の部

▽1回戦

啓新 不戦4人 新居浜東(愛媛)

大分(大分) 不戦1人 敦賀気比

敦賀 不戦3人 五島(長崎)

崇徳(広島) 不戦4人

久留米商(福岡) 不戦4人 北陸

丸岡 大将戦 日体大荏原(東京)

▽2回戦

郁文館(東京) 不戦2人 啓新

愛知桜丘(愛知) 不戦1人 敦賀

丸岡 不戦2人 済々黌(熊本)

▽3回戦

日章学園(宮崎) 不戦1人 丸岡

第59回全国道場少年剣道大会

7月29日(火)~30日(水)

日本武道館

中学生の部、福井養正館Aが コート3位、敢闘賞受賞

全日本剣道道場連盟主催(全剣連等後援)の「第59回全国道場少年剣道大会」が7月29日(火)、小学生の部)30日(水、中学生の部)、日本武道館で開催されました。本県からは4月

29日(火・祝)敦賀市総合運動公園体育館で開催された「第38回福井県道

場少年剣道大会」で上位入賞した小

学生7チーム中学生6チームと、前

年度中学生の部優勝福井養正館の7

チームが出場し、中学生の部で福井

養正館A(先鋒・岩谷賀生選手、中

堅・縄間太智選手、大将・熊谷薩馬

選手)がコート3位、敢闘賞を受賞

しました。

開会式では、福井養正館Aの岩谷選手が大観衆の見守る中、爽やかな選手宣誓をしました。

本県勢の結果は次の通りです。

■小学生の部(7月29日(火))

▽1回戦

九頭竜武徳館 0-2

本郷道場(千葉県)

福井今立道場B 0-1

武蔵館剣道部(埼玉県)

福井養正館 3-0

糸満剣志会(沖縄県)

鳥羽スポーツ少年団剣道部 0-3

牟礼剣道会(香川県)

福井三方道場 0(代表勝ち) 0

群馬県武道館剣道教室(群馬県)

▽2回戦

金井学園ジュニア剣道教室 0-3

蔵の街剣志会(栃木県)

福井養正館 1-0

巖心館(佐賀県)

福井三方道場 2―0

長崎日見剣友会(長崎県)
福井今立道場 A 0(代表負け)―0

吉岡剣心会(群馬県)

▽3回戦

福井養正館 0―3

修心館村本道場(奈良県)

福井三方道場 1(本数負け)―1

京都砂川少年剣道錬成会(京都府)

■中学生の部(7月30日(水))

▽1回戦

木田剣道スポーツ少年団 2―1

徳島剣清塾(徳島県)

木田足羽道場 0―2

東野少年剣道教室(福岡県)

▽2回戦

福井養正館 A 3―0

乙島道心館道場(岡山県)

福井今立道場 0―2

真崎少年剣道会(長崎県)

木田剣道スポーツ少年団 2―0

清野秀武館倉石道場(長野県)

福井養正館 B 1―2

城北剣道会(愛媛県)

鯖江志士樹館道場 3―0

宮崎佐藤道場(宮崎県)

一養会 0―2

高野道場(神奈川県)

▽3回戦

福井養正館 A 3―0

朱雀館道場(宮崎県)

木田剣道スポーツ少年団 1(代表負け)―1

九学道場(熊本県)

鯖江志士樹館道場 1―2

牧之原剣道スポーツ少年団(鹿児島県)

▽4回戦

福井養正館 A 1(代表勝ち)―1

毘沙門台剣道教室(広島県)

▽5回戦

福井養正館 A 0(代表負け)―0

下妻剣道スポーツ少年団(福岡県)

※コート3位 敢闘賞受賞



【開会式】選手宣誓する前年度優勝福井養正館Aの岩谷賀生選手



返還した優勝旗



【開会式】前年度優勝チームとして優勝旗・杯を返還する福井養正館A



【開会式】福井養正館岩谷選手の選手宣誓を告げる電光ボード



【中学生の部】木田足羽道場



【中学生の部】木田剣道スポーツ少年団



【中学生の部】コート3位敢闘賞を受賞した福井養正館Aと福井養正館B、一養会の選手



【小学生の部】九頭竜武徳館



【中学生の部】鯖江志士樹館道場



【中学生の部】福井今立道場



【小学生の部】福井三方道場



【小学生の部】福井養正館



【小学生の部】福井今立道場B



【小学生の部】福井今立道場A



【小学生の部】
鳥羽スポーツ少年団剣道部



【小学生の部】
金井学園ジュニア剣道教室



第37回ねりんピック剣道交流大会に出場する福井県チーム

大会・予選会・稽古会等

「第37回全国健康福祉祭ねりんピック剣道交流大会」福井県予選会
4月13日(日)

福井県立武道館
福井県剣連は本年10月に開催される「第37回全国健康福祉祭ねりんピック岐阜2025」出場選手の予選会を4月13日(日)、福井県立武道館で行いました。9名が年齢別3部門に分かれて競い、次の方々が本年10月18日(土)から20日(月)まで、岐阜県関市で開催される「ねりんピック剣道交流大会」の出場を決めました。

先鋒 谷口竜哉選手(敦賀地区)
次鋒 上山亮二選手(鯖江地区)
中堅 的矢俊昭選手(南条地区)
副将 上嶋啓芳選手(敦賀地区)
大将・監督 奥井俊雄選手(敦賀地区)



開会式に整列するねんりんピックとお通杯選考会の参加選手



選考試合の様子



第24回宮本武蔵顕彰女子剣道大会『お通杯』に出場する福井県選手

「第24回(お通杯)宮本武蔵顕彰女子剣道大会」福井県選考会

4月13日(日)

福井県立武道館

福井県剣道連盟は本年10月に岡山県美作市で開催予定の「第24回宮本武蔵顕彰女子剣道大会『お通杯』」出場選手の選考会を4月13日(日)、福井県立武道館で行い、次の方々が出場することが決まりました。

石橋沙希選手(坂井地区)

前川早百合選手(福井地区)

松岡由佳選手(福井地区)



選考試合の様子

令和7年度 福井県春季高校選手権大会

4月26日(土)

敦賀市立体育館

男女ともに敦賀高が優勝

「令和7年度福井県春季高校選手権大会」が4月26日(土)、敦賀市立体育館で団体戦が行われ、男女ともに敦賀高校が2年連続で優勝しました。男子は14校が出場、2位は丸岡高校、3位は美方高校と北陸高校が入賞しました。女子は11校が出場し、2位は北陸高校、3位は啓新高校と敦賀気比高校が入賞しました。試合結果は次の通りです。

男子団体戦

▽1回戦

高志 3-1 福井高専

藤島 3-1 羽水

啓新 3-0 武生

敦賀 2-0 工大福井

美方 4-1 敦賀気比

▽2回戦

丸岡 1-0 高志

北陸 2(本数勝ち)-1 藤島

敦賀 2-0 啓新

美方 5-0 鯖江

▽準決勝

丸岡 3-0 北陸

敦賀 1(代表勝ち)-1 美方

▽決勝

敦賀 1-0 丸岡

▽結果

優勝 敦賀高校

準優勝 丸岡高校

3位 美方高校

3位 北陸高校



男子団体優勝の敦賀高校

■女子団体戦

▽1回戦

敦賀 5-0 鯖江

北陸 3-0 美方

武生 2-0 高志

▽2回戦

敦賀 4-0 丸岡

啓新 3-0 藤島

北陸 4-0 金津

敦賀気比 3-1 武生

▽準決勝

敦賀 3-1 啓新

北陸 1-0 敦賀気比

▽決勝

敦賀 1(代表勝ち)-1 北陸

▽結果

優勝 敦賀高校

準優勝 北陸高校

3位 啓新高校

3位 敦賀気比高校



女子団体優勝の敦賀高校

■感想
敦賀高校剣道部

男子主将 深川 幸希

1年生が部活動に入って初めての県大会でした。この大会は、6月のインターハイ予選のシードを決めるための大事な大会です。まずは、みんなの気持ちが一つになり勝ち取ったシード権、とてもうれしいです。この優勝を弾みに、もう一度気を引き締めてこれから1ヶ月間、稽古をしていきます。今まで応援してくださったすべての方々に感謝の気持ちを忘れず、一人ひとりが最大限の力を発揮し、最高の試合ができるようこれから稽古に励みます。この結果に満足することなく、日々精進して、インターハイ予選では男女アベック優勝を達成し、全国の舞台に出場していつも応援してくださっている方々に恩を返したいと強く思っています。

剣道は一人の力では強くなることはできないと思います。みんなの気持ちでそろって、初めて勝ちきることができると思います。今年もたくさん1年生が入部してくれてみんなが高めあえるいい環境も整いました。これからの1ヶ月間、敦賀高校剣道部が一つの目標に向かっていき、どんなに高い壁があっても超えていきます。そしてインターハイ予

選では笑って終われるようにこれからも頑張っていきます。

敦賀高校剣道部

女子主将 狩川 怜那

新入生が加わり、3学年が揃ってからの初めての公式戦でした。男女とも人数が増え、今まで以上に活気のあるチームとなり、この春の大会に向けて練習にも励んできました。新体制となつてから大会まで約1ヶ月と、短い期間の限られた練習試合の中で、チームで勝つということを考え、大事にできました。

大会当日も、試合のメンバーに選ばれた8人だけでなく、全員で勝ちに行く気持ちで試合に臨みました。接戦が続きましたが、新チームとして初めてのこの大会で無事優勝することができ、率直にとっても嬉しかったです。

しかし、この大会で、県内で勝ち切るための課題も多く見つかったと感じています。まだまだチームとしても技術面としても予選までにやらなければいけないことを見つけたことができました。

より一層強くなれるよう、剣道そのものはもちろん、チームワークを大切に、敦賀高校一丸となり男女アベック優勝ができるよう精一杯頑張ります。

第38回福井県道場少年剣道大会

4月29日(火・祝)

敦賀市総合運動公園体育館

小学生団体は福井養正館、中学生団体は木田剣道スポーツ少年団Aが制覇

(一財)全日本剣道道場連盟主催、福井県剣道道場連盟主管、(一財)福井県剣道連盟など後援の「第38回福井県道場少年剣道大会」が4月29日(火・祝)、敦賀市総合運動公園体育館で開催されました。団体戦には小学生26チーム、中学生30チーム、個人戦には小学生の部男子34名、女子23名、中学生の部男子30名、女子28名が出場。7月29日(火)、30日(水)日本武道館で開催される「第59回全国道場少年剣道大会」と10月19日(日)、鹿児島県の鹿児島アリーナで開催される「第49回全国道場少年剣道選手権大会(第49回小中学生男子・第42回小中学生女子)」への出場をかけて熱戦を繰り広げました。試合結果は次の通りです。

■団体戦

▽小学生の部

優勝

準優勝

第3位

第3位

福井養正館(敦賀市)

九頭竜武徳館A(福井市)

福井今立道場A(越前市)

福井三方道場A(若狭町)



小学生の部準優勝の九頭竜武徳館



小学生の部優勝の福井養正館A

敢闘賞 鳥羽スポーツ少年団剣道部(鯖江市)
敢闘賞 福井今立道場B(越前市)
敢闘賞 金井学園ジュニア剣道教室A(福井市)
※「第59回全国道場少年剣道大会」には以上7チームが出場



小学生の部敢闘賞の鳥羽スポーツ少年団剣道部A



小学生の部第3位の福井三方道場A



小学生の部第3位の福井今立道場A

▽中学生の部
優勝 木田剣道スポーツ少年団A(福井市)
準優勝 福井今立道場A(越前市)
第3位 福井養正館A(敦賀市)
第3位 一養会A(敦賀市)
敢闘賞 木田足羽道場A(福井市)
敢闘賞 鯖江志士樹館道場A(鯖江市)



小学生の部敢闘賞の金井学園ジュニア剣道教室A



小学生の部敢闘賞の福井今立道場B



中学生の部準優勝の福井今立道場A



中学生の部優勝の木田剣道スポーツ少年団A

※「第59回全国道場少年剣道大会」には以上6チームと、昨年の「第58回大会 中学生の部」で優勝した福井養正館が優勝チーム枠で出場



中学生の部敢闘賞の木田足羽道場A



中学生の部第3位の一養会A



中学生の部第3位の福井養正館A



小学生男子の部入賞者

▼小学生男子の部
 優勝 山田桃璃
 準優勝 玄津遼馬
 第3位 宮口雄暉
 第3位 (木田剣道スポーツ少年団)
 第3位 榮瑠慳(新風館愛宕坂道場)



中学生の部敢闘賞の
 鯖江志士樹館道場A



中学生男子の部入賞者

▼中学生男子の部
 優勝 熊谷薩馬(福井養正館)
 準優勝 寺前秀朔
 第3位 (木田剣道スポーツ少年団)
 第3位 元井汰希(一養会)
 第3位 田中颯馬(福井今立道場)



小学生女子の部入賞者

▼小学生女子の部
 優勝 山田逢生(福井今立道場)
 準優勝 木村江那(福井今立道場)
 第3位 山口莉央(福井養正館)
 第3位 山口真央(福井養正館)

※各部門優勝者が「全国道場少年剣
 道選手権大会(第49回小中学生男
 子・第42回小中学生女子)」に出場



中学生女子の部入賞者

▼中学生女子の部
 優勝 岩谷明依(一養会)
 準優勝 山本仁華利
 第3位 (鯖江志士樹館道場)
 第3位 橋本晏利(福井今立道場)
 第3位 芦田結葉(福井三方道場)

令和7年度 福井県高等学校春季総
合体育大会「剣道競技」

6月6日(金)～8日(日)

福井県立武道館

団体は男女ともに敦賀高が制覇！

春季福井県高等学校総合体育大会「剣道競技大会」は6月6日(金)～8日(日)、福井県立武道館で開催され、団体は敦賀高校が男女ともに優勝を果たしました。男子は2年ぶり、女子は2年連続の栄冠で、8月7日(木)～10日(日)、広島市の広島県立総合体育館で開催される「第72回全国高等学校剣道大会(インターハイ)」への出場権を獲得しました。

男子個人戦

▽準々決勝

山口範登(丸岡) 1―0

山本紀仁(丸岡) 山本玲音(敦賀)
1(延)―0 出口慧(敦賀)

大谷悠介(福井工大福井) 1(延)―0
八幡優(丸岡)

下寛人(藤島) 2(延)―1
深川幸希(敦賀)

▽準決勝

山口 1―0 山本

▽3位決定戦

大谷 1(延)―0 山本

▽決勝

山口 2(延)―1 下

▽成績

優勝 山口範登(丸岡高校)

2位 下寛人(藤島高校)

※以上2名は8月7日(木)～10日(日)、広島市で開催される全国高校総体に出場

3位 大谷悠介(福井工大附属福井高校)

4位 山本紀仁(丸岡高校)

5位 山本玲音(敦賀高校)

5位 深川幸希(敦賀高校)

5位 八幡優(丸岡高校)

5位 出口慧(敦賀高校)

※5位までは6月20日(金)～22日(日)、富山県砺波市の富山県西部体育センターで開催される北信越高校総体に出場



男子個人入賞者

女子個人戦

▽準々決勝

狩川怜那(敦賀) 2―0

村井栞(敦賀気比)

秋元七海(敦賀) 1―0

小堀心々音(敦賀)

山下心優(敦賀) 1―0

森川瑞紀(敦賀)

塚田紀佳(敦賀気比) 1―0

塚田穂乃(敦賀)

▽準決勝

狩川 1―0 秋元

山下 1―0 塚田

▽3位決定戦

塚田 1(延)―0 秋元

▽決勝

狩川 1(延)―0 山下

▽成績

優勝 狩川怜那(敦賀高校)

2位 山下心優(敦賀高校)

※以上2名は8月7日(木)～10日(日)、広島市で開催される全国高校総体に、ともに2年連続で出場

3位 塚田紀佳(敦賀気比高校)

4位 秋元七海(敦賀高校)

5位 村井栞(敦賀気比高校)

5位 森川瑞紀(敦賀高校)

5位 塚田穂乃(敦賀高校)

5位 小堀心々音(敦賀高校)

※5位までは6月20日(金)～22日(日)、富山県砺波市の富山県西部体育センターで開催される北信越

高校総体に出場

高校総体に出場



女子個人入賞者

男子団体戦

▽1回戦

丸岡 4―0 羽水

敦賀気比 2―0 啓新

美方 5―0 福井高専

北陸 0(代表勝ち)―0 藤島

福井工大福井 3―1 高志

金津 2―1 武生

▽準々決勝

丸岡 5―0 鯖江

敦賀気比 1(本数勝ち)―1 美方

北陸 4―1 福井工大福井

敦賀 3―0 金津

▽準決勝

丸岡 1―0 敦賀気比

敦賀 1―0 北陸

▽決勝

敦賀 0(代表勝ち)―0 丸岡



男子団体2年ぶり優勝の敦賀高校

▽成績

優勝 敦賀高校(2年ぶり)

2位 丸岡高校

3位 北陸高校

3位 敦賀気比高校

※2年ぶり優勝の敦賀高校は8月7日(木)～10日(日)、広島市で開催される全国高校総体に出場。3位までは6月20日(金)～22日(日)、富山県砺波市の富山県西部体育センターで開催される北信越高校総体に出場

■女子団体戦

▽1回戦

金津 3―0 鯖江

啓新 3―0 藤島

高志 2―1 丸岡

▽準々決勝

敦賀気比 5―0 金津

敦賀 3―0 武生

美方 2―0 啓新

北陸 2―0 高志

▽準決勝

敦賀 2―0 敦賀気比

北陸 1(代表勝ち)―1 美方

▽決勝

敦賀 2―0 北陸

▽成績

優勝 敦賀高校(2年連続)

2位 北陸高校

3位 敦賀気比高校

3位 美方高校

※2年連続優勝の敦賀高校は8月7日(木)～10日(日)、広島市で開催される全国高校総体に出場。3位までは6月20日(金)～22日(日)、富山県砺波市の富山県西部体育センターで開催される北信越高校総体に出場



女子団体2年連続優勝の敦賀高校

■大会感想

敦賀高校 剣道部

男子主将 深川 幸希

まず初めに、日頃からご指導くださっている先生方、一番近くで見守ってくれた家族、そして日々切磋琢磨しながらともに成長してきた仲間たちに、感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

今回の優勝は、私たちにとって単なる「勝利」ではありません。この1年間、目標に向かって全員で一丸となつて積み上げてきた努力と、乗り越えてきた苦しみと、あきらめずに戦い抜いた証だと思っています。主将としてこの1年は正直しんどいことがたくさんありました。うまくい

かない稽古のとき、チームの雰囲気が出たとき、意見がぶつかり合つて気持ちが離れそうになったこともありましたが、そのたびに「自分には何もできない」という未熟さを感じました。しかし、そんな時に支えてくれたのは仲間の存在でした。どんなにきついメニューでも、声を掛け合いながら乗り越えてきました。自分一人ではどうにもならなかったことが、チームという形になったとき、乗り越えられるということを学びました。試合当日、プレッシャーも大きかったですし、簡単に勝てる相手は1校もいませんでした。それでも私たちは自分たちの剣道を信じ、これまでの努力を信じて、最後まで集中して戦い抜くことができました。特に決勝戦は一本一本の重みが全身にのしかかるような、緊張感がありました。でも誰一人として弱気にならず、粘り強く戦いました。声を掛け合い、チームワークの強さを見せることができたと思っています。

この優勝はゴールではなく、むしろスタートだと思っています。これからさらに上の舞台、北信越、インターハイに向けてより稽古に励み、技術だけでなく人間としても成長していきたいと思っています。この結果は私たち部員全員の力であり、応援してくださるすべての方々のおかげで

す。これからも感謝の気持ちを忘れず、謙虚に剣道と向き合っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

敦賀高校 剣道部

女子主将 狩川 伶那

たくさんの方のおかげで、男女ともに優勝することができました。

3年生にとって最後の県大会・上位に繋がる大会ということもあり、1・3年生それぞれに初戦から決勝までこれまでとはまた違った緊張感がありました。それでも先生方からの「この日のためにやってきた」という声掛けや、自分たちの勝ちたい思いで、一人一人がみんなの為に必死になって戦いました。「絶対このメンバーでインターハイに行く」という全員の思いが一つになって、全員で戦い、得られた勝利だったと思います。目標である全国制覇を成し遂げるためにも、まずこの県大会でしっかりと勝ち切るということをたくさん考えてきました。常にチームワークやチームで勝つというのを大事にして練習や遠征にも取り組んできました。この大会ではそのチームワークの部分を発揮することができたのではないかと思います。

しかし、県大会で優勝することが私たちがずっと目指し続けている目標ではありません。私たちの目標は

全国制覇です。この大会で優勝し、北信越、インターハイと上位大会へ繋げることができました。ここからが本当の勝負だと思うので、北信越・全国での1番を目指してこれからも全員で努力していきます。

この大会での優勝は決して自分たちの力だけでできたものではありません。指導してくださる先生方、1番近くで支えてくれる家族、ともに頑張る仲間、応援してくださる方々など、本当にたくさんの方の支えがあつてこそその結果だと強く感じています。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、さらに上を目指して精進していきます。

応援ありがとうございました。また、これからも応援よろしくお願いします！

第38回福井県居合道大会および全日本居合道大会県選考会

6月8日(日)

越前市武道館

6月8日(日)、越前市武道館で「第38回福井県居合道大会」を開催しました。

なお、同大会は本年10月に東京で開催される「全日本居合道大会」出場選手の選考会を兼ねたものであり、

五段の部、六段の部の優勝者は福井県代表選手として全日本大会に出場します。

試合結果は次の通りです。

■団体戦

優勝 福井市剣道連盟 居合道九

頭龍会チーム

■個人戦

▽段外の部

優勝 宮川保則(越前地区)

▽初・貳段の部

優勝 梅原保高(越前地区)

▽五段の部

優勝 斎藤聖也(福井地区)

▽六段の部

優勝 長谷川翔平(福井地区)



第63回県中学校夏季総合競技大会「剣道競技」兼県民スポーツ祭(中学校)

7月3日(木)～4日(金)
福井県立武道館

男子団体は松陵、女子団体は中央がともに3年連続の優勝！

令和7年度「第63回福井県中学校夏季総合競技大会」兼「県民スポーツ祭」中学生の部「剣道競技」が7月3日(木)・4日(金)、福井県立武道館で開催されました。団体戦では男子の部で松陵中学校が3年連続5度目の優勝、女子も中央中学校が3年連続5度目の優勝を遂げました。優勝校は8月23日(土)～25日(月)、宮崎県都市で開催される「第55回全国中学校剣道大会」に出場します。

男子団体戦

【決勝トーナメント】

▽1回戦

松陵中 3-0 春江中

至民中 1-2 足羽第一中

三方中 1(本数勝ち)-1 南越前中

中央中 0-3 明倫中

▽準決勝

松陵中 4-0 足羽第一中

三方中 2-1 明倫中

▽決勝

松陵中 2-0 三方中

▽北信越順位決定戦

明倫中 2-1 足羽第一中

▽結果

優勝 松陵中学校

2位 三方中学校

3位 明倫中学校

3位 足羽第一中学校



男子団体3年連続優勝の松陵中学校

男子個人戦

▽1年

1位 吉田幸彌(足羽第一中)

2位 吉田空哉(福井市剣連)

3位 呉林嵩太郎(三方中)

3位 山口己八(朝日中)



▽2年

1位 杉本結士(松陵中)

2位 寺川凱都(気比中)

3位 三田村幸志郎(南越前中)

3位 田中一織(小浜中)



▽全学年

優勝 元井汰希(松陵中)

2位 熊谷薩馬(三方中)

3位 縄間太智(松陵中)

4位 玄津春馬(明倫中)



女子団体戦

【決勝トーナメント】

▽1回戦

鯖江中 0-3 森田中

足羽一中 0-2 越前市剣連

三方中 1(代表勝ち)-1 松陵中

気比中 0-3 中央中

▽準決勝

森田中 3-1 越前市剣連

三方中 0-1 中央中

▽決勝

森田中 0-0(代表勝ち) 中央中

▽北信越順位決定戦

越前市剣連 1-3 三方中

■女子個人戦

▽1年

- 1位 出口咲希(松陵中)
 2位 山田愛莉(越前市剣連)
 3位 野村楓(中央中)
 3位 荒木妃依(松陵中)



女子団体3年連続優勝の中央中学校

▽結果

- 優勝 中央中学校
 2位 森田中学校
 3位 三方中学校
 3位 越前市剣連

▽全学年

- 1位 長谷川沙津紀(三方中)
 2位 小林美仁(森田中)



▽2年

- 1位 脇本想(春江中)
 2位 中荒江羽未(中央中)
 3位 村中緋奈乃(至民中)
 3位 古川瑞歩(中央中)



- 3位 山本仁華利(越前市剣連)
 4位 岡井陽菜(中央中)



第59回福井県少年剣道錬成大会

7月6日(日)

福井県立武道館

男子団体は福井今立道場、女子団体は福井三方道場が優勝

福井県剣道連盟主催(主管…少年委員会)の「第59回福井県少年剣道錬成大会」が7月6日(日)、福井県立武道館で開催され、団体戦は男子(5人制、男女混合可)が福井今立道場、女子(3人制)は福井三方道場が優勝しました。

県内の小学生約230人が参加。団体戦は男子の部34チーム、女子の部9チームがそれぞれトーナメント

戦を実施。個人戦もトーナメントで、男女別に5年生以上、4年生以下の4部門に分かれて優勝を競いました。「第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(9月、大阪市)」に出場する福井県代表の選考会も行いました。上位8人が7月12日(土)に県立武道館での最終選考会(リーグ総当たり戦)に進み、代表選手6人(代表5人、補欠1人)を選考します。試合結果は次の通りです。

■男子団体戦

- 優勝 福井今立道場
 2位 福井三方道場
 3位 三国少年剣道教室
 3位 丸岡剣道スポーツ少年団



男子団体戦優勝の福井今立道場



男子団体戦3位の丸岡剣道スポーツ少年団



男子団体戦3位の三国少年剣道教室



男子団体戦準優勝の福井三方道場



女子団体戦準優勝の神明スポーツ少年団剣道部



女子団体戦優勝の福井三方道場

■女子団体戦
優勝 福井三方道場
2位 神明スポーツ少年団剣道部
3位 南越前町剣道スポーツ少年団
3位 森田少年剣道教室

■4年以下男子個人戦
優勝 小堀隼弥(福井三方道場)
2位 丸山陽大(福井今立道場)
3位 佐々木隆治(福井今立道場)
3位 落井友梧
(南越前町剣道スポーツ少年団)



女子団体戦3位の森田少年剣道教室



女子団体戦3位の南越前町剣道スポーツ少年団



■4年以下女子個人戦
優勝 山田逢生(福井今立道場)
2位 井上華那(龍昇館道場)
3位 山口真央(福井養正館)
3位 朝倉菜月(五常館)



■5年以上男子個人戦

- 優勝 忽那卓磨(福井養正館)
 2位 角潤之介(新風館愛宕坂道場)
 3位 山崎晃太郎
 (木田剣道スポーツ少年団)
 3位 大下知憲(福井三万道場)



■5年以上女子個人戦

- 優勝 三好希実(五常館)
 2位 丸山暖乃(福井今立道場)
 3位 新渡戸佳奈
 (丸岡剣道スポーツ少年団)
 3位 橋向雅愛(菅原少年剣道教室)



■都道府県代表選考会

- 優勝 木村江那(福井今立道場)
 2位 野村耀生(福井今立道場)
 3位 山口莉央(福井養正館)
 3位 渡邊絵愛(森田少年剣道教室)
 敢闘賞 脇本煌理(武道学園)
 敢闘賞 永沢隼人(三田少年剣道教室)
 敢闘賞 定政怜汰(森田少年剣道教室)
 敢闘賞 宮口雄暉
 (木田剣道スポーツ少年団)

※都道府県選考会最終選考会

7月12日(土)9時30分開会
 福井県立武道館

第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(小学生の部) 第3次選考会

7月12日(土)

福井県立武道館

福井県剣道連盟(少年委員会)は9月14日(日)、大阪市のおおきにアリーナ舞洲で開催される「第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」に本県代表として出場する選手を決める選考会を7月12日(土)、県立武道館で開催しました。本年2月2日(日)のジュニア育成強化剣道大会(1次選考会)、7月6日(日)の「第59回福井県少年剣道錬成大会」での

都道府県代表選考会(2次選考会)を勝ち残った8人による総当たり戦を実施しました。選考された選手は次の通りです。

- 1位 木村江那 (福井今立道場 越前市)
 2位 野村耀生 (福井今立道場 越前市)
 3位 山口莉央 (福井養正館 敦賀市)
 4位 渡邊絵愛 (森田少年剣道教室 福井市)
 5位 宮口雄暉 (木田剣道スポーツ少年団 福井市)
 6位 永沢隼人 (三田少年剣道教室 坂井市)

※市町名は団体所在地



「第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」の本県代表選手

'25年度(令和7年度)福井県民スポーツ祭(高校の部)

7月19日(土)

福井県立武道館

男女ともに敦賀高が制覇

試合結果は次の通りです。

男子団体の部

▽1回戦

- 北陸B 1人残し | 美方C
 啓新A 3人残し | 高志
 美方A 4人残し | 敦賀C
 敦賀B 3人残し | 敦賀気比C
 福井工大福井 2人残し | 福井高専B
 藤島 3人残し | 羽水
 敦賀気比B 4人残し | 鯖江

▽2回戦

- 敦賀A 大将同士 | 北陸B
 丸岡B 大将同士 | 福井高専A
 北陸C 2人残し | 啓新A
 美方A 1人残し | 敦賀気比A
 敦賀B 2人残し | 北陸A
 福井工大福井 大将同士 | 美方B
 藤島 2人残し | 啓新B
 丸岡A 3人残し | 敦賀気比B

▽準々決勝

- 敦賀A 3人残し | 丸岡B
 美方A 3人残し | 北陸C

女子団体の部

▽1回戦

啓新B 大将同士 | 美方C
金津 2人残し | 鯖江
北陸B 3人残し | 敦賀気比B



男子団体の部で優勝した敦賀高校A

▽準決勝

敦賀B 2人残し | 福井工大福井
丸岡A 3人残し | 藤島

▽決勝

敦賀A 2人残し | 美方A
丸岡A 大将同士 | 敦賀B

▽成績

優勝 敦賀高校A
準優勝 丸岡高校A
3位 美方高校A
3位 敦賀高校B

▽2回戦

北陸C 大将同士 | 丸岡
高志B 1人残し | 藤島B

敦賀A 大将同士 | 啓新B
高志A 不戦勝 | 武生B
藤島A 1人残し | 金津
美方A 1人残し | 北陸B
敦賀気比A

▽準々決勝

敦賀B 大将同士 | 北陸C
武生A 2人残し | 美方B
北陸A 大将同士 | 啓新A
3人残し | 高志

▽準決勝

敦賀A 2人残し | 高志A
美方A 2人残し | 藤島A
敦賀B 大将同士 | 敦賀気比A
北陸A 3人残し | 武生A

▽決勝

敦賀A 大将同士 | 美方A
敦賀B 2人残し | 北陸A

▽成績

優勝 敦賀高校B
準優勝 敦賀高校A
3位 北陸高校A
3位 美方高校A



優秀選手賞の藤枝選手(北陸高)と松永選手(敦賀気比高)



女子団体の部で優勝した敦賀高校B

県剣連会議・事業等

令和7年度 剣道中央伝達講習会

4月27日(日)

福井県立武道館

福井県剣道連盟は4月27日(日)、福井県立武道館で「令和7年度剣道中央講習会伝達講習会」を開催しました。講師は全日本剣道連盟が4月5日(土)～6日(日)千葉県勝浦市で開催した「全剣連 令和7年度第60回剣道中央伝達講習会」を受講した県剣連の西川譲専務理事が務め、各地区剣連、団体等から43人が参加しました。





【県剣連】

令和7年度 居合道講習会

5月11日(日)

越前市武道館

福井県剣道連盟居合道部は5月11日(日)、越前市武道館で「令和7年度居合道講習会」を開催しました。県内の居合道を修練する会員20名が参加しました。

講師は石川県剣道連盟より派遣された中村正人先生(居合道範士八段)で、全日本剣道連盟居合十二本の技の注意点、特に段位審査の際に審査員が注目するポイントについて詳しく説明いただきました。

受講した会員の中には8月の県居合道段位審査会や六段以上の全国審査会の受審に挑戦する会員も多く、講師の説明するポイントの一つ一つメモするなど熱心に取り組んでいました。今後の県内居合道のさらなる普及、発展が期待されます。



令和7年度 第1回理事会

5月15日(木)

福井県立武道館

片山会長の挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出し、議事に入りました。

【議題】

一、令和6年度事業報告(案)について
西川専務理事が資料により説明し、異議なく承認されました。

二、令和6年度財務諸表および収支計算書(案)について
川嶋事務局員が資料により説明し、前田監事から監査報告があり、異議なく承認されました。

三、令和7年度役員の一部変更および業務分担(案)について
西川専務理事が資料により説明し、異議なく承認されました。

四、旅費規程改定(案)について
西川専務理事、堀江常務理事が資料により説明した後、岡田理事から質疑があり、西川専務理事が回答し、異議なく承認されました。

五、六段以上審査における、高齢受審者の修業年限短縮措置について
川野理事が資料により説明し、異議なく承認されました。

六、定時評議員会の日時・場所・議題議案について
西川専務理事が5月定時評議員会

の開催について説明し、異議なく承認されました。

【報告事項】

一、令和7年度地区会長・理事長・事務局長会議議題について
西川専務理事が資料により報告しました。

二、令和7年度強化計画について
堀江常務理事が資料により報告しました。

三、全剣連事務局長会議について
川野理事が事務局長会議の概要について報告しました。

四、第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会について
堀江常務理事が福井県チームの結果について報告しました。



令和7年度 福井県剣道連盟総会(地区連盟 会長・理事長・事務局長会議)

5月25日(日)
福井パレスホテル

(一財)福井県剣道連盟は5月25日(日)、福井市の福井パレスホテルで「令和7年度総会(各地区会長・理事長・事務局長会議、評議員会)」を開催しました。



令和7年度地区連盟会長・理事長・事務局長会議

各地区連盟会長・理事長・事務局長と県連盟から片山会長、西川専務理事、堀江常務理事、坂本常務理事、事務局員2名が出席し、前記会議を開催しました。片山会長の挨拶の後、連絡・説明・質疑応答を行いました。

報告事項は次のとおりでした。

【報告事項】

- ・令和7年度事業計画について
- ・全剣連六段以上審査における、高齢受審者(65歳以上)の修業年限短縮措置について
- ・全剣連後援剣道講習会(審判法)について 11月2日(日)県立武道館で開催
- ・「少年剣道教育奨励賞」の推薦について
- ・世界剣道選手権大会 応援クラブについて

令和7年度定時評議員会

片山会長の挨拶の後、定款第27条に基づき宮川保則評議員を議長に選出、定款第29条に基づき安原真紀評議員、津田尚弘評議員を議事録署名人に選出し、議事に入りました。

【議題】

- 一、令和6年度事業報告について
西川専務理事が資料により説明し、異議なく承認されました。
- 二、令和6年度財務諸表および収支計算書について
西川専務理事が資料により説明し、前田監事から監査報告があり、異議なく承認されました。
- 三、令和7年度役員の一部変更および業務分担について
西川専務理事が資料により説明

し、異議なく承認されました。

四、旅費規程改定について

西川専務理事が資料により説明し、異議なく承認されました。

五、六段以上審査における、高齢受審者の修業年限短縮措置について
堀江常務理事が資料により説明し、異議なく承認されました。

【報告事項】

- 一、令和7年度強化計画について
堀江常務理事が資料により報告しました。
- 二、全剣連事務局長会議について
西川専務理事が事務局長会議の概要について報告しました。
- 三、第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会について
堀江常務理事が福井県チームの結果について報告しました。



令和7年度 第2回理事会

7月4日(金)

福井県立武道館

片山会長の挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出し、議事に入りました。

【議題】

【報告事項】

一、令和7年度事業遂行状況について
西川専務理事、堀江常務理事、川野理事、柳原理事、岡田理事、上嶋理事、田中理事が担当する各部委員会の事業実施状況および今後の事業予定について報告しました。

県剣連公式ホームページについて

【広報部より「お願い」】

当連盟公式ホームページは、福井県剣道界のポータルサイトとして「福井県内の剣道のことなら何でもわかる」を目指し、県剣道連盟会員への各種情報の提供はもとより、県内剣道人口の拡大を目指して、普及部と連携して少年・女性剣士の普及・拡大のための情報提供、さらにこれから剣道を始めよう、復活しよう、転勤で福井に來たから剣道したい、などの方に役に立つ情報の提供

を目的としています。

つきましては広報部より次の3点について、各地区剣道連盟・各団体のご協力をお願いします。

①公式ホームページのURL、QRコードの記載

ホームページへのアクセス促進のため、各地区剣道連盟・各団体が行う各大会、事業等の「実施要項」、「プログラム」等に、この公式ホームページの「URL」、スマホからのアクセス用「QRコード」の記載をお願いします。

【ホームページのURL】

<https://fukui-kendo.com/>

【スマホアクセス用QRコード】



②各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックス提供

ホームページの「特集」ページに各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などトピックスを取り上げていますので、トピックス情報がありましたら、原稿と画像をご提供いただきますようお願いいたします。

③各地区剣道連盟・各団体の「道場一覧」の修正情報

地区剣道連盟と傘下の各団体・教室・道場の情報に変更・修正・追加画像変更があれば、次の送付先に連絡ください。

※原稿・画像データ送付先

県剣連事務局
県剣連広報部

8月～12月の主な事業予定

【8月】

- ・1日(金) 愛知県小牧市 第67回全国教職員剣道大会
- ・2日(土) 福岡県 令和7年度剣道七段審査会
- ・3日(日) 福岡県 令和7年度剣道段審査会
- ・3日(日) 福井県立武道 令和7年度県民スポーツ祭(市町の部)
- ・7日(木)～10日(日) 広島市 第72回全国高等学校剣道大会
- ・8日(金) 福井県立武道館

第46回北信越中学校剣道大会

・9日(土)～10日(日) 愛知県 令和7年度剣道八段審査会

・17日(日) 敦賀市総合運動公園体育館 令和7年度第2回剣道段位審査会

・17日(日) アイシンアリーナ(越前市) 第54回福井県少年少女剣道錬成武生大会

・23日(土)～25日(月) 宮崎県都城市 第55回全国中学校剣道大会

・24日(日) 射水市体育館(富山県) 北信越国民スポーツ大会

・24日(日) 越前市武道館 令和7年度居合道伝達講習会

・30日(土) 宮城県 令和7年度剣道七段審査会(宮城)

・31日(日) 宮城県 令和7年度剣道六段審査会(宮城)

・6日(土)～7日(日) 富山総合体育センター 第66回北信越学生剣道優勝大会

・7日(日) 石川県 第71回全日本東西対抗剣道大会

・14日(日) おおきにアリーナ舞洲 第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

・20日(土) 長野県 令和7年度剣道合同稽古会(北信越地区)

・21日(日) 福井県立武道館 第73回福井県剣道大会(一般の部)

・29日(月)～10月1日(水) 滋賀県
第79回国民スポーツ大会

【10月】
・5日(日) 福井県立武道館
令和7年度剣道昇段審査研修会
(四段以上)

・11日(土) 東京武道館
第60回全日本居合道大会
・12日(日) 福井県立武道館
令和7年度第3回木刀講習会・形講習会

・15日(水) 福井県立武道館
令和7年度第3回理事會
・17日(金) 敦賀市立体育館
令和7年度県中学校秋季新人競技大会 剣道競技

・18日(土)～20日(月) 岐阜県関市
第37回全国健康福祉祭剣道交流大会
・19日(日) 宮本武蔵顕彰武蔵武道館(岡山県)
第24回宮本武蔵顕彰女子剣道大会

・25日(土) 福井県立武道館
令和7年度福井県中学校秋季強化錬成會
・26日(日) 福井県立武道館
第2回福井県社会人剣道大会

【11月】
・1日(土)～2日(日) 若狭町
令和7年度近県中学生剣道錬成大会
・3日(月・祝) 日本武道館
第73回全日本剣道選手権大会・第64回全日本女子剣道選手権大会

・3日(月・祝) 小浜市
嶺南剣道大会

・9日(日) 春日井市総合体育館
第44回全日本女子学生剣道優勝大会
・8日(土)～9日(日) 名古屋市枇杷島スポーツセンター
令和7年度剣道七・六段審査会(愛知)

・14日(金)～15日(土) 八王子市
令和7年度剣道六・七段審査会(東京)
・14日(金)～15日(土) 福井県立武道館
令和7年度福井県高校新人戦兼都道府県大会高校男子一次予選會

・16日(日) 勝山ジオアリーナ
第48回全国スポーツ少年団剣道交流大会福井県予選會
・16日(日) 大阪市中央体育館
第73回全日本学生剣道優勝大会

・24日(月・振休) 敦賀市総合運動公園体育館
第44回福井県少年剣道錬成敦賀大会
・24日(月・振休) 福井県立武道館
令和7年度 第3回剣道段位審査會

・20日(木) 東京都
剣道・居合道(教士・錬士)審査會
・20日(木)～21日(金) 日本武道館
令和7年度剣道八段審査會(東京)

・30日(日) 東京都
居合道 六・七段審査會
・30日(日) 石川県
北陸実業団剣道大会
・7日(日) 福井県立武道館

剣道形講習會
・14日(日) 福井県立武道館
第16回福井県少年剣道強化錬成會
・21日(日) 福井県立武道館
武道まつり

各地区剣連トピックス

【福井県剣道寿康會】

4月12日(土)に「令和7年度 第1回定例稽古会・世話人会」を開催

福井県剣道寿康會は4月12日(土)、鯖江市三六武道館で本年度最初となる「令和7年度 第1回定例稽古会・世話人会」を開催しました。県内各地から会員14名が参加、船田事務局長の号令で柔軟体操、素振りの後、約1時間ほど基本稽古とお互いの稽古に汗を流しました。

次回は6月14日(土)13時30分から16時まで、「令和7年度寿康會總會」および「第2回定例稽古会」を同じく鯖江市三六武道館で開催します。



【越前地区剣連】4月26日(土)に「日野川の合戦」開催

今年は白軍の圧勝！

越前市剣道連盟は4月26日(土)、越前市の日野川東側芝生広場(万代橋付近)で、恒例行事「第11回 日野川の合戦」を開催しました。この行事は南北朝時代の1338年に、南朝方の新田義貞と北朝方で越前守護の斯波高経が争った「日野川の戦い」にちなんで、子どもたちの交流を促進し、剣道のPRにもつなげようと2015年から開催しています。

当日は越前市内の小・中学生と南



越前中学校の生徒、指導者、一般会員の総勢115人の剣士が参加。紅組と白組に分かれ、それぞれの組の色の風船を面に付けて風船を割り合う合戦を展開。攻めるか、守るかに発勝負の戦いに気合いの入った掛け声が青空に響き、盛り上がりました。



野試合のあとは小中学生の紅白戦。風船割り野試合と紅白戦合わせの結果は76対91で白軍の圧勝で終わりました。

普段外で剣道をするのではないので晴天のもと子供も大人も裸足で走り回って楽しめました。



【敦賀地区剣連】5月30日(金)に「2025年度総会」開催

役員改選し全員が留任

敦賀市剣道連盟は5月30日(金)、敦賀市南公民館で「2025年度総会」を開催しました。会員59名(委任状含む)が出席。新入会員、各表彰者、昇段者紹介の後、議事に入り、2024年度事業報告、同決算・監査報告、2025年度事業計画、同予算案を審議し、いずれも承認されました。また2年に1度の役員改選があり、現役員が全員留任しました。

【福井県剣道寿康会】5月31日(土)・6月1日(日)の「淡海剣友会剣道合同親睦稽古会」に参加

福井県剣道寿康会からは10名が参加

滋賀県の淡海剣友会主催の「令和7年度淡海剣友会剣道合同親睦稽古会」が5月31日(土)・6月1日(日)、京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、福井県から65名が参加して滋賀県高島市の新旭体育館で開催され、本県からは福井県剣道寿康会から10名、おい町剣友会から3名が参加しました。

31日(土)の14時30分から1時間30分

の親善稽古、終了後高島市内のホテルに移動し懇親会、翌1日(日)は9時から親善稽古を再開し、近畿府県の剣友との交流と親睦を深めました。

【福井県剣道寿康会】6月14日(土)に「令和7年度総会」を開催

役員改選、会長は尾形言成さんが留任

福井県剣道寿康会は6月14日(土)、鯖江市三六武道館で「令和7年度福井県剣道寿康会総会」を開催、県内各地から会員21名が出席しました。令和6年度事業報告・決算報告・監査報告と、令和7年度の事業計画・収支予算案、令和7度・8年度の役員改選について協議、事務局提案の通り承認されました。総会に先立ち稽古会も行いました。

令和7年度事業計画

- ・4月12日(土) 世話役人会(鯖江市三六武道館)
- ・4月12日(土) 定例稽古会(鯖江市三六武道館)
- ・6月14日(土) 総会、稽古会(鯖江市三六武道館)
- ・9月6日(土) 定例稽古会(鯖江市三六武道館)
- ・11月29日(土) 世話役人会(鯖江

- 市三六武道館)
- ・11月29日(土) 定例稽古会(鯖江市三六武道館)

交流稽古会等

- ・5月31日(土)～6月1日(日) 兵庫・大阪・京都・滋賀・福井親善交流稽古会(滋賀県高島市立新旭体育館)
- ・7月12日(土)～13日(日) 第4回北信越高齢者武道大会(新潟県上越市 謙信公武道館)
- ・9月21日(日) 北陸3県高齢者稽古会(石川県金沢市 石川県立武道館)
- ・10月11日(土) 交流稽古会(淡海剣友会)(敦賀市中郷体育館)
- ・10月19日(日)～20日(月) 第37回全国健康福祉祭さふ大会(岐阜県関市 アテナ工業アリーナ(関市総合体育館))

令和7年度・8年度新役員

- ・会長 尾形言成(越前市)※留任
- ・世話人 吉田淳夫(若狭町)※留任
- ・世話人 前田宗昭(敦賀市)※留任
- ・世話人 宮川保則(越前市)※留任
- ・世話人 埴山正信(大野市)※留任
- ・世話人 齊藤憲司(坂井市)※留任
- ・世話人 宮腰茂雄(あわら市)※留任
- ・世話人 的矢俊昭(南越前町)※新任
- ・世話人 田中佐代子(鯖江市)※新任
- ・事務局長 船田久三郎(福井市)※留任
- ・事務局 田中秀幸(福井市)※新任





〔大飯地区剣連〕6月15日(日)に「第28回北近畿少年剣道大会・第6回猿渡杯剣道大会・第19回小堀杯剣道大会」を開催

北近畿大会 小学生団体は尼西水明クラブAが制覇

高浜町剣道連盟は6月15日(日)、高浜町中央体育館で「第28回北近畿少年剣道大会・第6回猿渡杯争奪剣道大会・第18回小堀杯争奪剣道大会」(福井県剣連後援)を開催しました。兵庫県・滋賀県・京都府・福井県から、北近畿少年大会(小学生、中学生男女団体戦)には小学生59チーム、中学生男子26チーム、中学生女子14チーム、猿渡杯大会(高校生男女個人戦)には男子34名、女子4名、小堀杯(一般女子個人戦)には16名が参加、熱戦が繰り広げられました。

試合結果は次の通りです。

■第28回北近畿少年剣道大会

※小学生、中学生男・女団体戦

▼小学生の部

優勝 尼西水明クラブA

準優勝 千代川剣道クラブA

3位 京都正道館A

3位 守山剣友会A

▼中学生男子の部

優勝 尼西水明クラブA

準優勝 尼西水明クラブB

3位 豊剣道教室

3位 守山剣友会A

▼中学生女子の部

優勝 尼西水明クラブ

準優勝 福井三方道場

3位 守山剣友会

3位 京都至誠館

■第6回猿渡杯争奪剣道大会

※高校男女個人戦

▼男子の部

優勝 松井大翔(福知山成美高)

準優勝 高橋悠斗(福知山成美高)

3位 野口和樹(福知山成美高)

3位 藤田真生(福知山成美高)

▼女子の部

優勝 森下風紗(舞鶴高専)

準優勝 橋本彩加(西舞鶴高)

3位 市瀬阿子(舞鶴高専)

3位 藤岡優月(竹田剣友会)

■第19回小堀杯争奪剣道大会

※一般女子個人戦

優勝 北河ひなた(海上保安学校)

準優勝 佐多ほか(海上保安学校)

3位 崎山春美(舞鶴廣徳館)

3位 阪本知栄子

(園部少年少女剣道クラブ)

〔鯖江地区剣連〕6月22日(日)に「鯖江市東西対抗戦」を開催

テーマは「剣道を通じた交流と継承」

鯖江市剣道連盟は6月22日(日)、鯖江市中央中学校武道館で「鯖江市東西対抗剣道大会」を開催しました。この催しは、18歳から74歳までの市

内剣士18名が「東軍」と「西軍」に分かれ、世代を超えて剣を交える、年に一度の恒例行事です。競技大会とは一線を画し、「剣道を通じた交流と継承」をテーマに掲げた本イベントは、今年で3回を迎えました。

試合では、若手選手の果敢な一本狙い、中堅剣士の安定した攻防、そしてベテラン剣士の円熟味あふれる気迫と構えが織り交ざり、見応えある立ち合いが展開されました。終了後には小学生を交えて回り稽古も行われ、熱気に包まれた道場には世代を超えた真剣勝負と笑顔が交差しました。

大会後は、焼き肉店で懇親会を実施。剣道談義に花が咲き、日頃なかなか顔を合わせない他地区の剣士たちとの交流が深まるひとときとなりました。



「勝ち負けを超えて、剣道を志す者同士が集い、学び合う機会を大切にしたい」という思いから始まった東西対抗戦は、地域に根ざした剣道文化の育成にも寄与する貴重な場として、今後も継続していく予定です。



【県剣連 居合道部】大嶋雅典さん(越前市剣連)が居合道七段合格
剣道・居合道W七段は県内初の快挙!



越前市剣道連盟の大嶋雅典さん(76歳)が6月27日(金)、茨城県土浦市の霞ヶ浦文化体育会館(水郷体育館)で開催された全剣連 居合道六段・七段審査」で七段に合格されました。剣道・居合道の両道七段は県内初の快挙。剣道は教士七段、居合道は錬士七段。

大嶋さんは1949年生まれで現在76歳。埼玉県行田市出身で、その後転勤に伴い福井県へ移住し、現在越前市在住です。中学入学時より剣道を始め、高校でも剣道部に所属、大学では日本大学剣道部に所属。2009年に剣道七段に昇段し、現在は越前市武道館を中心に週4日稽古に励まれています。

大嶋さんと居合道との出会いは40歳の頃、剣道五段審査に挑戦するもなかなか合格できなかった時期に、

同じ越前市剣道連盟の松本敏夫先生(現 同連盟会長)の勧めで始めたのがきっかけでした。居合道で使う日本刀の重さは1kg以上で竹刀に比べ倍近くあります。大嶋さんはその日本刀を腕の力を抜き、手の内(指)の力だけで振る稽古を重ねられました。その手の内の技術を剣道に応用すると打突に刃が生じ、剣道五段にも合格されました。その後剣道と合わせて居合道も週4日稽古を続けられています。

大嶋さんは普段、越前市武道館で剣道と居合道を稽古されていますが、同武道館が本年10月より改修工事に伴い1年間休館になることとなり、休館中は稽古時間が限られてしまうので何とか休館前の今回の審査会で合格したいという気持ちで稽古日数を週6日に増やし、1か月間集中的に稽古することで技に自信が持てるようになり審査会でも手応えがあったとのこと。

大嶋さんは今後も稽古を重ね、剣道では相手が本心から参りましたというような心を持つ剣道を目指し、また居合道では全日本居合道大会の七段の部に挑戦し、まず1勝を目指していきたいと抱負を語っていました。

(記：県剣連居合道部事務局 長谷川祥平)



みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

越前市剣道連盟 居合道

越前市剣道連盟の居合道への取り組み

玉村 伸治

越前市は、全国的にも有名な越前打刃物の生産地である。700年ほど昔、京都の刀匠千代鶴国安が良質な水求めて府中(越前市)に來住し作刀を始めた。折れず曲がらずよく切れるように、粘り強い心鉄(しんがね)を硬い鋼で包んで刀身を打ち伸ばした。峰は厚く、刃は薄く作られ、秘伝の泥を塗り高温に焼いたあと刀身を水に浸す。急冷した刃は徐々に冷え、峰の縮み方の違いで無理な力を加えることなく刃の反りができる。この焼き入れに使った水が国安が求めていた物だったのである。刀剣制作のかたわら農民に三日月鎌の製法を伝えたとき、越前市と刀には深い関わりがある。

昭和30年には(当時)武生市剣道連盟により第1回奉納試し切り大会が開催され、それ以来現在まで毎年正月3日に恒例行事として継続されている。武生の医師相木七良右エ門先生が無双直伝英信流の指導をされて

いたこともあり、会員が真剣を使ったり、居合を見聞きする機会に恵まれていたのだろう。昭和60年には福井県でも居合道が奨励され、有志会員が毎週神山小学校に集まり稽古するようになり、現在の神山道場の基となった。同時に各自が真剣を購入し、稽古にも熱が入った。その後令和の時代になり、剣道高段者は居合道にも精通すべきだと、松本敏夫連盟会長の強い信念の元、剣道七段の高段者を中心に次々と勧誘していった。本年の福井県居合道大会には多数出場し、段外の部と初武段の部で優勝している。

現在は毎週月曜日の午後8時から9時に神山小学校、毎週日曜日の午後3時から5時に越前市武道館に於いて定例稽古を実施している。また越前市スポーツ課主催の居合道入門教室や越前市スポーツ協会主催の武道体験教室にも剣道、居合道ともに指導者を派遣し、参加した親子に定例稽古へ参加を呼びかけ、競技人口の拡大を図っている。最近では、剣道連盟のホームページを通じて稽古場所を知った初心者からの問い合わせ

せもあり、積極的に参加を歓迎している。

スポーツ少年団や中学校剣道部の合宿では居合道の演武を披露し、剣道と居合道の一体感を伝える「剣居一体」の理念を広めている。今後はさらに居合道の魅力を広めるべく、初心者や若い世代、そして日本の文化に関心を持つ方々に向けた普及活動に力を入れていきたいと考えている。地域と連携した体験教室の開催や動画やSNSを活用した情報発信を通じて、伝統武道としての居合道の価値を伝えていく所存である。



剣道称号・段位 合格者

全剣連 剣道六段以上合格者

剣道六段

・4月29日(火・祝) 京都市
的矢俊昭(南越前地区)
齊藤雄彦(坂井地区)

剣道七段

・5月10日(土) 名古屋市中
前田浩由(福井地区)
北島弘治(坂井地区)

全剣連剣道称号(範士・教士・錬士)合格者

・5月6日(火・振休) 京都市

錬士

渡邊龍二郎(福井地区)
高橋泰平(丹生地区)
小玉完嗣(福井地区)
島田奈美江(福井地区)

全剣連 居合道称号(範士・教士・錬士)合格者

・5月6日(火・振休) 京都市

錬士

鎌田真之(越前地区)
齋藤佳男(福井地区)

全剣連 居合道七段(合格者)

・6月27日(金) 茨城県
大嶋雅典(越前地区)

県剣連 令和7年度第1回剣道段位審査会

・開催日 5月11日(日)
・開催場所 福井県立武道館

【初段】 49名

中村将希	栗野中学校
片岡優和	鯖江中学校
宮腰汰来	丸岡中学校
藤井彰仁	武生第二中学校
熊谷圭悟	金津中学校
半田琉愛	春江中学校
井上善太	藤島中学校
佐藤太一	武生第二中学校
木戸屋仁	福井大学附属中学校
角海陽仁	三国中学校
本村亮裕	明倫中学校
齊藤蒼昊	成和中学校
奥浜駿	三国中学校
澤崎隼太	南越前中学校
大塚泰也	丸岡南中学校
大坂莉己	藤島中学校
刀根昊也	松陵中学校
酒井淳武	森田中学校
岡本蓮佑	南越前中学校
張田哲嗣	気比中学校
加藤祐輔	南越前中学校
林泰樹	大東中学校
山田蒼太	南越前中学校
高木架瑠	丸岡南中学校
園藍人	鯖江中学校
村瀬葵衣	明道中学校
堀百花	三国中学校

岩谷明依	松陵中学校
岑吉愛莉	森田中学校
大野悠愛	三方中学校
末永智恵	藤島中学校
加賀梢恵	明倫中学校
富山千依莉	藤島中学校
矢部あおい	春江中学校
岩田和華	金津中学校
大谷堇花	春江中学校
廣畑李花	明倫中学校
坪川和愛	明倫中学校
内田瑠璃	南越中学校
永森彩智	大東中学校
久保海奈	朝日中学校
清水結月	朝日中学校
奈須田結月	坂井中学校
吉田真桜	中央中学校
角井里咲	松岡中学校
雨山夏希	明倫中学校
吉田夢奈	松岡中学校
柴原ひまり	気比中学校
板垣姫来	中央中学校
【二段】 25名	
畑祐太郎	中央中学校
中川朋洋	栗野中学校
岸本朔也	武生第二中学校
朝倉誠	成和中学校
高橋空杜	松岡中学校
坪田柊	春江中学校
三田村汰門	南越中学校
櫻木凜清	大東中学校

華立俊太	金津中学校
土橋斗羽	芦原中学校
前川滉明	丸岡高校
高橋玲爾	啓新高校
志田心希	坂井中学校
杉本愛華	丸岡中学校
川端沙歩	栗野中学校
新渡戸紬	丸岡中学校
田中和乃香	高志中学校
竹中理咲子	春江中学校
前川明梨	明倫中学校
前川侑香	春江中学校
園美優	武生第一中学校
山口紗依	北陸高校
齋藤詩乃	北陸高校
櫻川晴乃	北陸高校
本田夏子	会社員
【参段】 7名	
荒井翼	北陸高校
岡井新之介	丸岡高校
山本紀仁	丸岡高校
米納大稀	福井工業大学
内藤萌日	武生高校
平田はな	啓新高校
石橋沙希	会社員
【四段】 9名	
藤井大暉	東京理科大学
表洸平	福井県立大学
小林汰誠	龍谷大学
奥田大也	福井工業大学

ペンリレー

女性剣士の部屋

大飯地区剣道連盟 波多野 香住巳

「道」～踏み出す勇気!千里の道も一步から～

【五段】

無し

辻崎実希
岩崎健太郎
松橋弘明
井上恭男
松田智樹会社員
自営業
会社員
自営業
警察官

私は社会人になってから剣道を始めました。今年で12年になります。子どもの頃はあまり体が丈夫ではなく運動が得意ではなかったこともあり、学生時代はずっと文化部に所属しており体を動かすことに縁のない生活をしておりました。ですので、我ながらよく続けられているなと思います。

剣道を始めたことにも続けられていることにも理由があります。小学生から高校生まで生け花を習っていたのですが、華道の奥深さ触れたことで「道」と名の付くものを修めることの面白さを知りました。華道が静の道だとするならば武道は動の道とも言えそうだという考えに至り、実際に習ってみたいと思うようになりました。

そんな憧れを持ったまま社会人になったある日、職場で「剣道を始めませんか?」という勧誘ポスターを目にしました。これが剣道を始めることになった直接のきっかけです。初心者かつ運動経験のない大人でも大丈夫だろうか?と不安を抱きながらも勇気を出して問い合わせしてみたところ、見学させていただけることになりました。当日は見学だけのつもりでいたのですが、先生が竹刀の握り方を教えて下さり、手と足の動かし方も分からないまま初めて素振りをしたことを今でも覚えています。

それからは同じ時期に剣道を始めた小さな子どもたちと一緒に素振りをし、剣道具を着けるようになってからは、小・中学生に交じって稽古をしていました。子どもたちの成長は早く、背丈も私を越していきます。私も早く上達したくて一番多い時には週4日稽古に参加し、多くの先生に指導いただいたり自主的に素振りしたりしていました。ところが体の使い方や踏み込み加減が上手ではなかったのか、疲労骨折することが何度ありました。最近では、汗をかくような運動をすると全身に蕁麻疹が出ることや、脇が腫れて視界が狭くなるということがあります。できるだけ予防をしても起こる時は起こります。蕁麻疹は痒くて痛いし脇は開かなくて不便だし顔が変わってしまっても悲しい気持ちになるのですが、

その時はもう仕方ないと思っています。

社会人になってから剣道を続けてきて思うことは、「試合に勝つことの上手さ」と「美しい剣道をするものの上手さ」と人に剣道を教える上手さ」はそれぞれ違うということです。もともと運動が得意ではなく体も丈夫な体質ではない私だからこそ、指導して下さる先生の負担はいかばかりかと。もしかすると様々な道場へ出稽古にいった稽古に参加すること以上に、まず私に合った指導を受けられることが、私にとって大事なのではないかと思うようになりました。

現在、先生も稽古仲間も私の体質を考慮して稽古の仕方を考えて下さることがとてもありがたいです。何度やっても習った通りにできなくても、いい打ち方ができたと思ったらまたすぐ悪い癖がでて、新しいことを一つ習ったら一つ前に習ったことを忘れてしまっても、感情的にならずに手を変え、品を変え根気強くご指導下さることに大変感謝しています。

一つのことを続けるというのは自分が決めたことでもありますが、そういう環境があるからこそ私は剣道を続けられているのだと思います。



私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

㈱マルツホールディングス 様	医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様
㈱ 法 美 社 様	メディアボックス㈱ 様
千寿会医療福祉グループ 様	医療法人 相 木 病 院 様
ノザキモーター 様	㈱ アイビックス 様
いづみ観光バス㈱ 様	カ ラ ヤ ㈱ 様
伊藤歯科クリニック 様	参議院議員 山谷えり子 様
衆議院議員 稲田朋美 様	岩 崎 貞 夫 様
高 森 政 義 様	卯 目 ひ ろ み 様
鶴 田 裕 一 様	

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

■年会費	個人会員	1口	10,000円
	公益または公益に準じる事業を目的とする団体	1口	10,000円
	企業等	1口	30,000円

- 特 典
- ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail: fkikendo@herd.ocn.ne.jp